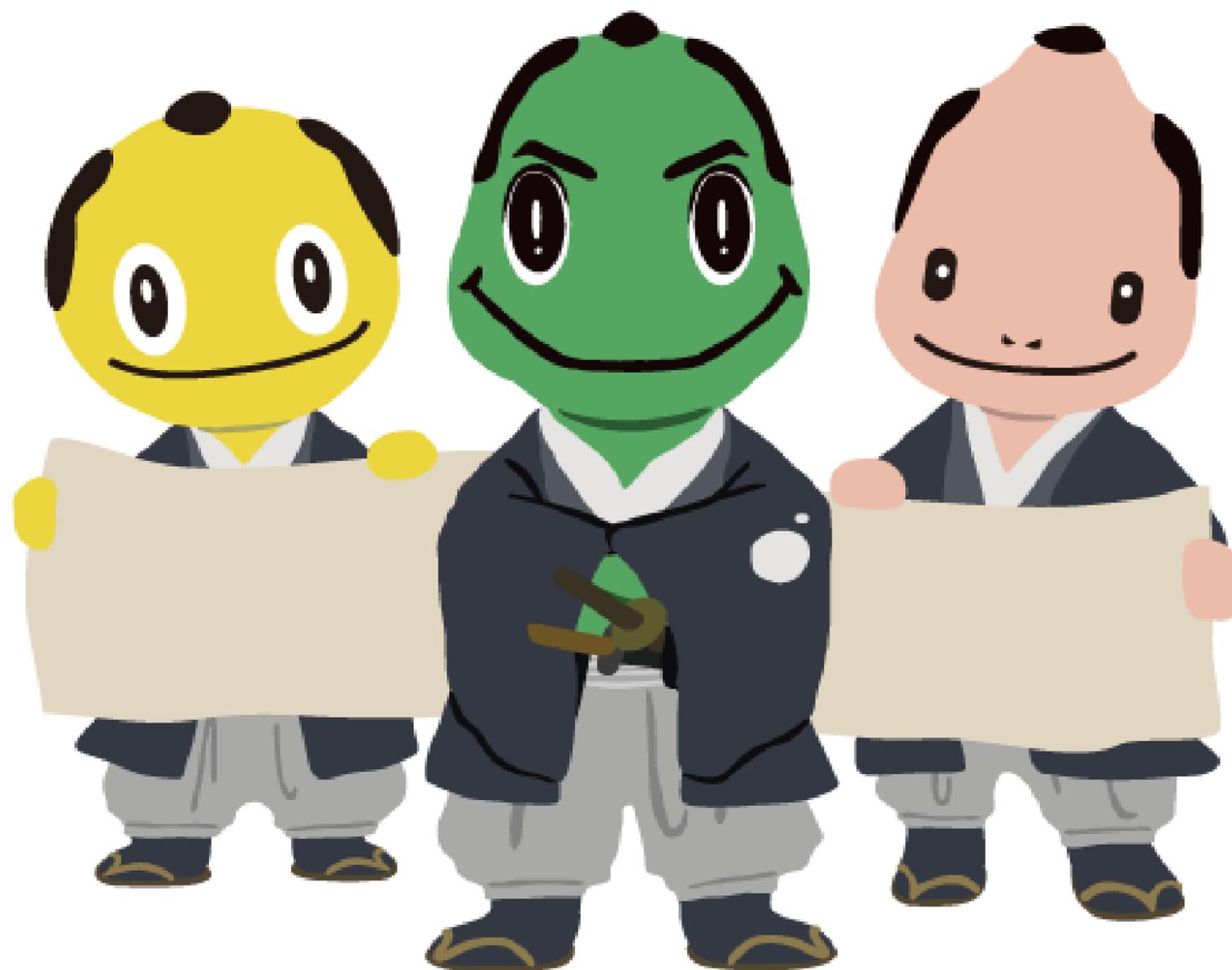


平成27年度 9月補正予算



福井県

平成27年度9月補正予算の規模

一般会計の9月補正予算の規模 36 億円

この結果、一般会計の予算現計 4,858 億円 (対前年度比0.1%減)

| 会計区分 | 27年度 | | | | 26年度 9月現計 ② | 増減 (①－②) ③ | 伸び率 (③／②) |
|------|-------|------|------|-----------|-------------------|------------------|--------------|
| | 当初予算 | 6月補正 | 9月補正 | 9月現計 ① | | | |
| | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | 億円 | % |
| 一般会計 | 4,590 | 233 | 36 | 4,858 | 4,862 | △4 | △0.1 |
| 特別会計 | 120 | 6 | | 126 | 121 | 5 | 3.6 |
| 企業会計 | 351 | 5 | | 356 | 382 | △26 | △6.8 |
| 計 | 5,061 | 244 | 36 | 5,340 | 5,365 | △25 | △0.5 |

1 元気な社会

県内大学生等の定着促進事業（15百万円）

- ・ 県内大学等（5大学、2短大、1高専）は、
入学者のうち県内就職率が高い県内出身者が
約60%に留まり、卒業時には約40%の
学生が県外へ就職

（入学者数 約2,900人 うち県内出身者数 約1,700人
就職者数 約2,100人 うち県内就職者数 約1,200人）



【オープンキャンパス】

- ・ 県内大学等が行う学生の定着に向けた事業を支援することにより、若年層の社会減を抑制

- ・ 各大学等が行う学生の定着に向けた事業を支援

<入学時>

嶺南でのオープンキャンパスの実施など学生確保のための事業

<就職時>

大学独自のインターンシップの実施など県内就職促進のための事業

- ・ 28年度以降は、各大学等の入学者や県内定着者の増加実績に応じ増額

県外出身高校生の確保等促進事業(制度創設)

- ・私立高校において、全入学者の約10%を占める県外出身の生徒は、高校卒業後ほとんどが県外へ進学・就職

私立高校入学者数 2,104人 うち県外出身の入学者数 202人(27年4月入学)
県外出身の卒業生数 98人 うち県内進学・就職者数 7人(27年3月卒業)



【インターンシップの様子】

- ・県内のみならず県外からの生徒確保および県内大学等への進学や県内就職を促進するため、私立学校が行う活動を支援（28年4月の入学者数等に応じて28年度から支援）

- ・私立高校が行う県外出身生徒の確保およびその県内定着を図る活動を支援

<入学時>

県外からの生徒受け入れ実績に対する支援

<進学・就職時>

県外生徒の地元就職者、地元大学等への進学者の増加実績に対する支援

児童科学館リニューアル事業（41百万円）

【リニューアルコンセプト】

- ・ 宇宙、自然や人の暮らしに対する関心を高める観覧型の展示内容から、科学の現象を生活体験や実感に基づいて理解できる参加型展示内容へと改修



【吹き抜け空間を活かしたダイナミックな映像空間】

<展示エリアのリニューアル内容>

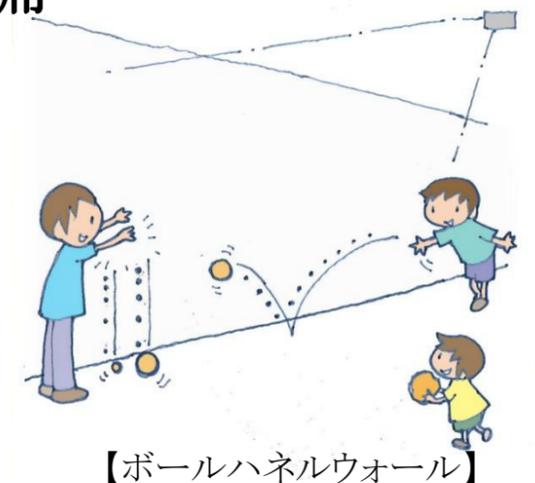
- ・ 高い吹き抜け空間を活かし、福井と世界をつなげるダイナミックな映像空間の整備
- ・ 7つのテーマ設定に基づき、科学の現象を理解できる展示物の整備

（展示アイテム例）「ボールハネルウォール」…投げたボールの軌跡を壁面に表示し

物体の違いによる動きの違いを確かめる（全国初の展示）

- ・ 参加型科学実験室「コミュニケーション・ラボ」の整備

（実験例）「身近なもので色々な構造の橋をつくろう」、「化学繊維をつくろう」



【ボールハネルウォール】

教育研究所移転整備事業（9百万円）

【教育研究所の機能強化】

- ・全国トップクラスの学力をさらに向上させるため、研究・研修のパワーアップを図る

＜具体的内容＞

福井の教育力を映像、展示などにより全国に発信

小学校英語の教科化や大学入試制度改革など新たな課題に対応した指導力強化

退職教員による若手教員への研修強化



【実践型集合研修の風景】

- ・ 28年3月に閉校となる春江工業高校を利用
- ・ 耐震工事が必要な自治研修所もあわせて移転

＜改修スケジュール＞

(H27) 改修工事実施設計 (H28) 改修工事、施設整備

福井フューチャーマイスター事業（6百万円）

【福井フューチャーマイスター制度】（10月以降に創設）

- ・ 制度検討会や企業アンケートなどをもとに、資格取得、コンクール、コンテスト、企業実習および部活動等の成績を得点化
- ・ 合計点数に応じグレード認定（ゴールド、シルバー、ブロンズ）し、就職試験に活用



【技能検定(旋盤)実技試験】

- ・ 企業が求める専門資格について、受検料の2/3または1/2を助成し、取得促進

＜資格例＞農業：日本農業技術検定、工業：技能検定（旋盤等）、商業：簿記検定、家庭：秘書検定、

水産：小型船舶操縦士、福祉：介護福祉士

(1/2補助：乙種4類危険物取扱者、国内旅行地理検定3級)

「年縞」活用推進事業（40百万円）

【水月湖年縞】

- ・ 水月湖年縞のデータを基にした年代測定
の「ものさし」が世界中で活用

日本最古のヒトの全身骨格である港川人の年代較正

約18千年前 → 約20千年前

日本最古の縄文式土器の年代較正

約16,900年前 → 約16,652年前

- ・ 年代測定に用いられるデータは年縞に
含まれる葉の化石が基になっており
約170年程度の誤差あり



【年縞コアの調査】

立命館大学との共同研究を行い、
どの年代にも含まれる花粉を分析
することにより、誤差を約50年
程度に縮小、「ものさし」の高精
度化を図る

- ・ 立命館大学との共同研究に必要な資機材の整備

水月湖年縞からレーザー光線により花粉を抽出する技術を確立

2 元気な産業

サンドーム福井管理棟再整備事業（23百万円）

- ・ サンドーム福井開館20年を契機として、管理棟を伝統工芸産業等の人材育成拠点として再整備
- ・ 来場者の利便性、利用環境の改善を図り、利用者の増加につなげる

・ 管理棟再整備の実施設計

< 整備内容 >

デザインセンターの移設

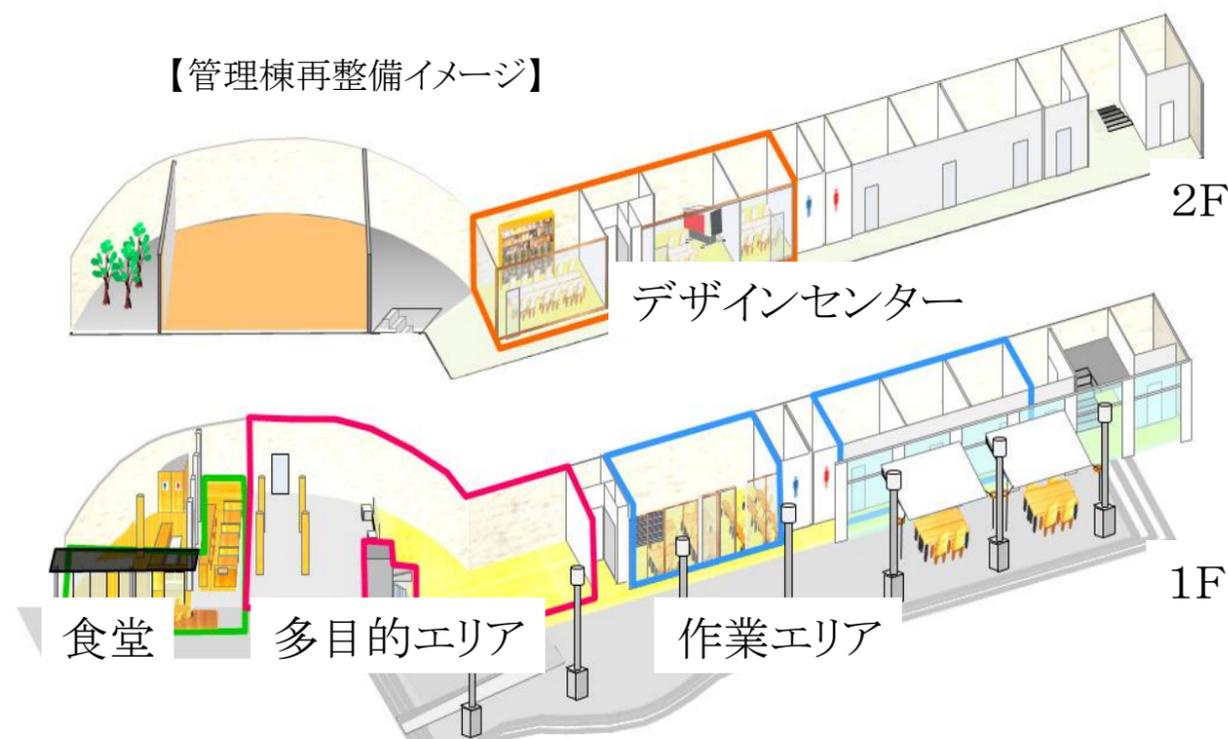
総合的な相談窓口を設置し、デザインの指導、助言等を実施

人材育成の拠点として整備

伝統工芸職人塾における実技講座や子どもを対象とした体験教室を実施

県産品の展示・販売、商談会等を開催できるスペースを整備

食堂、トイレ等の改修

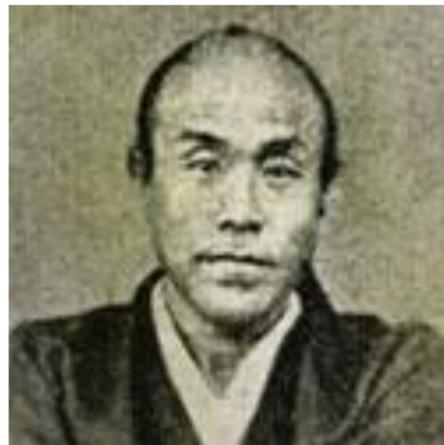


幕末明治150年福井の偉人発信プロジェクト事業（11百万円）

- 幕末明治150年（平成30年）に向け、近代日本の幕開けに活躍した本県出身偉人の功績等を県内外に発信し、誘客拡大や大河ドラマの誘致を目指す



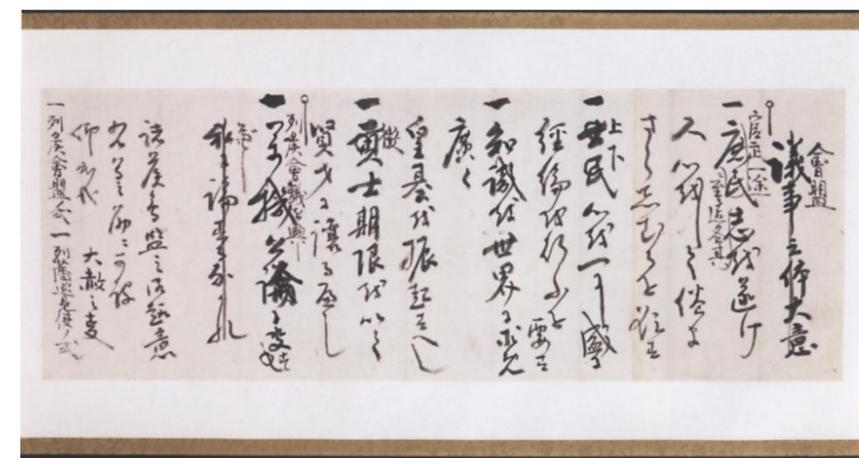
【松平春嶽】



【由利公正】



【橋本左内】



【由利公正が著した「議事之体大意」】

- 明治新政府の基本方針「五箇条の御誓文」の草案起草者である由利公正など幕末明治の偉人の功績を普及するイベントの開催
- 都内における幕末明治の福井展および他県との連携イベントの開催

3 元気な県土

小松空港利用促進事業(5百万円)

【小松空港の現状】

- ・ 北陸新幹線金沢開業の影響により小松・羽田便の利用客減少
(7月末現在 対前年同期比△34.9%(66万人→43万人))
- ・ ビジネス利用客を対象に、小松・羽田便の利用拡大を図る
(目標 54,000人)



【小松空港】

- ・ 小松・羽田便ビジネス利用促進キャンペーンの実施
石川県、航空会社、北陸エアターミナルビルと協力し、キャンペーンを実施
小松・羽田便ビジネス利用促進キャンペーンに参加する企業を募集
参加企業に対して駐車場無料券などの特典を提供して利用を後押し

4 元気な県政

丸岡城国宝化推進事業（2百万円）

【丸岡城の国宝指定】

- ・ 坂井市と連携し、丸岡城の建築時期を特定する調査等を実施し、国宝指定を目指す

＜丸岡城の特徴＞

現存する12の城の1つ（国宝：5、重要文化財：7）

日本最古の建築様式を持ち1576年に柴田勝豊によって築城されたといわれる

日本で唯一石瓦（笏谷石）の使用



【重要文化財「丸岡城」】

- ・ 建築史や建造物等の専門家からなる調査研究委員会の設置
- ・ 建築時期特定のため放射性炭素年代調査、年輪年代測定調査など科学的年代測定調査
- ・ 建築史上の特徴を明らかにするための古文書や全国の城郭等建造物の比較調査